

現代写真絵巻

宇治市内各所で
写真展

観覧無料

みんな
で

宇治十帖



開催日

2024年

1月19日(金) - 2月18日(日)

展示場所

宇治公園、JR宇治駅自由通路、京阪宇治駅地下通路

モニター展示

宇治市源氏物語ミュージアム、お茶と宇治のまち交流館「茶づな」、
JR宇治駅前観光案内所

プロジェクト紹介

ギャラリーステップワン(ゆめりあうじ1階) 会期 1月12日(金)~2月5日(月)

絵図については「源氏絵鑑帖」(宇治市源氏物語ミュージアム蔵)の一部を使用しています。

画像提供: 宇治市、宇治市源氏物語ミュージアム

会場マップ



東へ600m 三室戸寺内

写真展示

- A 宇治公園**
常時展示 / 京都府宇治市宇治
- B JR宇治駅自由通路**
常時展示 / 京都府宇治市宇治宇文字16
- C 京阪宇治駅地下通路**
常時展示 / 京都府宇治市宇治乙方

モニター展示

- D 宇治市源氏物語ミュージアム**
京都府宇治市宇治東内 45-26
9:00～17:00 (入館は16:30まで)
月曜休館 (祝日の場合は翌日)
- E お茶と宇治のまち交流館「茶づな」**
京都府宇治市菟道丸山 203-1
9:00～17:00 / 年中無休
- F JR宇治駅前観光案内所**
京都府宇治市宇治里尻 5-9
9:00～17:00

プロジェクト紹介

- G ギャラリーステップワン (ゆめりあうじ1階)**
京都府宇治市宇治里尻 5-9
9:00～22:00 / 会期: 1月12日(金)～2月5日(月)
*本会場のみ会期が異なりますのでご注意ください。

- ※ 開館日、開館時間等は各施設のルールに準じます。
- ※ 各会場へは公共交通機関をご利用ください。
- ※ 本展は各会場無料でご覧いただけますが、施設内の有料ゾーンをご利用の際には入場料をお支払いください。
- ※ 宇治市源氏物語ミュージアム内を観覧する場合は有料となります(モニター展示は無料ゾーンにあります)。

宇治十帖ゆかりの「古蹟」を見に行こう

- ① 東屋
- ② 椎本
- ③ 手習
- ④ 浮舟
- ⑤ 蜻蛉
- ⑥ 総角
- ⑦ 早蕨
- ⑧ 宿木
- ⑨ 橋姫
- ⑩ 夢浮橋

*④浮舟は三室戸寺境内にあるため拝観料が必要となります。

みんなで探した“宇治の魅力”を写真で展示

『源氏物語』を締めくくる最後の十帖の主な舞台となった宇治は、千年もの時を経てなお親しまれるいにしへの風情をたたえる町です。2023年12月に開催した写真ワークショップ「わたしの宇治十帖」では、源氏物語に取り上げられた宇治の歴史や魅力に迫るレクチャーや、写真の鑑賞や撮影技術を本格的に学び、ミラーレス一眼カメラを手に市内を歩いて見つめなおしました。そして“今伝えたい宇治の魅力”を、参加者一人一人がカメラのファインダーを通じて捉えました。宇治上神社や朝霧橋、宇治十帖モニュメントなど宇治ゆかりの風景を捉えた視線はまさに十人十色です。

本展では、写真ワークショップに参加した子どもから大人まで約100名の方々による写真作品を紹介します。色とりどりの写真作品はまさしく現代写真絵巻です。宇治公園ほか市内各所に設けられた展示会場を巡りながら、物語と現実のはざまを渡り歩くように、歴史を紡ぐ宇治の魅力をお楽しみください。

源氏物語「宇治十帖」とは？

『源氏物語』五十四帖のうち、最後の十帖は宇治を主な舞台とするため、「宇治十帖」と呼ばれています。宇治十帖は、光源氏がなくなった後の物語で、光源氏の子とされる薫と孫の匂宮の二人の貴公子と、大君、中の君、浮舟という宇治の八の宮の姫君をめぐる恋模様が描かれています。

主催：京都:Re-Search 実行委員会 (京都府、宇治市ほか)

企画運営：MUZ ART PRODUCE

機材協力：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

教材協力：KYOTOGRAPHIE

運営協力：宇治写真協会

施工：有限会社スタジオアーク

助成：

お問い合わせ ※展示に関して、各会場への問い合わせはお控えください。

京都:Re-Search 実行委員会事務局 (京都府文化芸術課内)

E-mail soudan.bungei@pref.kyoto.lg.jp

TEL 075-414-5549 (平日 9:00～17:00)

FAX 075-414-4223

詳しくは KYOTOHOOP の「地域展開プロジェクト」ページをご確認ください。

<https://kyotohoop.jp/project/uji2023exhibition/>

